

第 180 回 短観 (2019 年 3 月 · 高知県分)

▽ 調査対象企業および回答状況

(社数)

		調査先数	回答先数	(回答率)	大企業	中堅企業	中小企業	回答期間
全	産業	112	111	(99.1%)	4	21	86	
	製造業	32	31	(96.9%)	3	7	21	2月25日~3月29日
	非製造業	80	80	(100.0%)	1	14	65	

(注1)「大企業」は資本金10億円以上、「中堅企業」は同1億円以上10億円未満、「中小企業」は同1億円未満。

(業況判断 D.I.)

- ・ <u>業況判断 D. I.</u> は、製造業が横ばいとなったほか、非製造業が個人消費の底堅さ等を背景に小売、宿泊・飲食サービスを中心に改善したことから、全体でも改善した(全産業:前回7→今回10)。
- 先行き(6月までの見通し) については、製造業、非製造業ともに悪化を見込んでいる(同:今回10→先行き5)。

(2018年度の事業計画)

- ・ <u>売上高</u>は、製造業では海外需要や国内インフラ工事関連受注の増加などにより 前年度比増収となるほか、非製造業でも新規出店効果などにより前年度比増収 となることから、全体でも前年度比増収の計画。
 - ▶ 前回調査比では、製造業、非製造業ともに概ね横ばい。
- ・ <u>経常利益</u>は、製造業では原材料価格上昇の影響があるものの、高付加価値製品の受注増加により前年度比増益となる一方で、非製造業では人件費などのコスト負担から前年度比減益となり、全体では前年度比減益の計画。
 - ▶ 前回調査比では、製造業は、高付加価値製品の受注増加や採算の改善から上 方修正、非製造業は、人件費の増加などから下方修正、全体では上方修正。
- ・ <u>設備投資額</u>は、非製造業では前年度の大幅増加の反動もあって減少となるものの、製造業では大型の能力増強投資や BCP 関連投資などから大幅増加となることから、全体でも前年度比増加の計画。
 - ▶ 前回調査比では、製造業・非製造業のいずれでも、一部案件の計上時期の後ずれがみられ、下方修正。

(2019年度の事業計画)

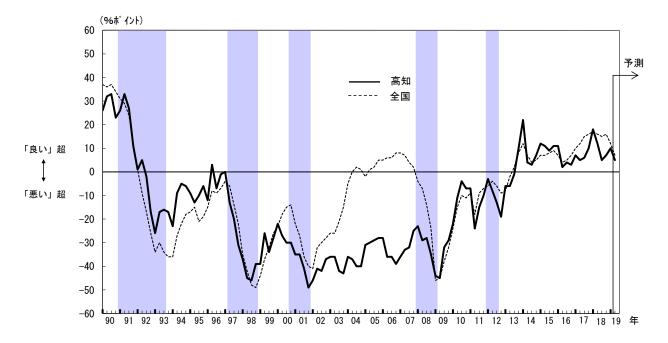
・ <u>売上高</u>は、前年度比微増の計画。<u>経常利益</u>は、製造業では、設備投資を受けた 償却負担の増加から減益、非製造業は、概ね横ばい、全体では減益の計画。<u>設</u> 備投資額は、製造業・非製造業のいずれも現時点では前年度を下回る計画。

1. 業況判断 D.I.

(「良い」ー「悪い」社数の構成比・%ポイント)

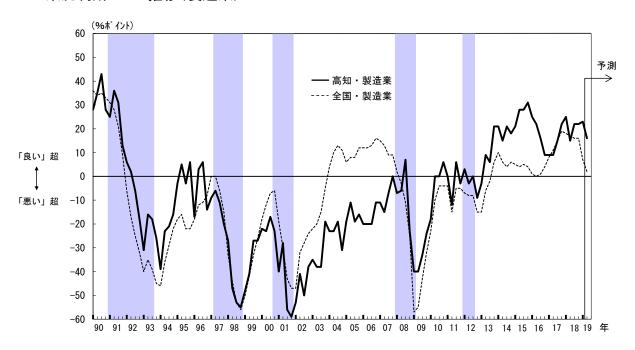
				2018/3月	6月	9月	12月	(前回の 2019/3月	2019/3月		6月	
				2010/3月	0月	971	14月	予測)	最近	変化幅	先行き	変化幅
全產	産業			18	12	5	7	(7)	10	3	5	▲ 5
		社数構	①良い	28	23	18	20	(17)	21	1	16	4 5
		成比	②さほど良くない	62	66	69	67	(73)	68	1	73	5
		%	③悪い	10	11	13	13	(10)	11	▲ 2	11	0
	製造	5業		25	15	22	22	(16)	23	1	16	4 7
		食料	品	0	▲ 13	▲ 13	▲ 25	(A 25)	▲ 12	13	▲ 25	▲ 13
		はんり	用·生産用·業務用機械	34	50	33	50	(50)	50	0	33	▲ 17
	非集	製造業	É	16	11	1	0	(4)	5	5	2	▲ 3
		建設	ţ	31	16	8	8	(8)	8	0	8	0
		卸売	5	14	14	0	7	(7)	0	4 7	▲ 14	▲ 14
		小売	5	17	9	5	▲ 13	(13)	9	22	17	8
		宿泊	・飲食サービス	25	25	▲ 25	▲ 13	(A 25)	▲ 13	0	▲ 25	▲ 12
			全産業	17	16	15	16	(10)	12	4	7	4 5
(全	全国:規模:		製造業	18	17	16	16	(11)	7	4 9	2	4 5
			非製造業	15	15	14	15	(10)	15	0	9	▲ 6

▽ 業況判断 D.I.の推移(全産業)

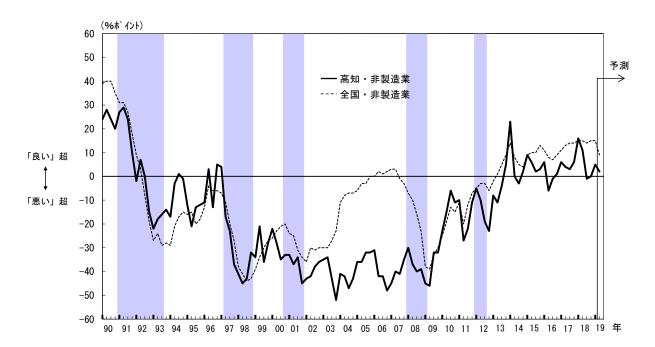


(注2)シャドーは景気後退期(内閣府調べ、以下同じ)。

▽ 業況判断 D.I.の推移(製造業)



▽ 業況判断 D.I.の推移(非製造業)



2. 事業計画

(1)売上高

(前年度比・%)

		2017年度	2018年度		2018/上期		2018/下期	
		実績	計画	(修正率)	実績	(修正率)	計画	(修正率)
全産業		+ 1.5	+ 1.7	(A 0.2)	+ 1.2	(0.0)	+ 2.2	(A 0.4)
	製造業	+ 5.4	+ 4.6	(A 0.4)	+ 1.2	(0.0)	+ 7.7	(▲ 0.8)
	非製造業	+ 0.6	+ 1.1	(A 0.2)	+ 1.2	(0.0)	+ 1.0	(A 0.3)
			2019年度		2019/上期		2019/下期	
			計画	(修正率)	計画	(修正率)	計画	(修正率)
全産業			計画 + 0.8	(修正率)	計画 + 1.9	(修正率)	計画 ▲ 0.3	(修正率)
全産業	製造業	_		(修正率)		(修正率)		(修正率)

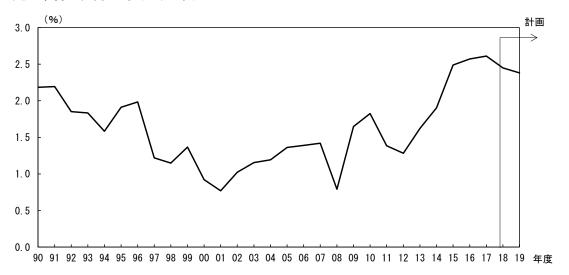
⁽注3) 前年度比や修正率の「0.0」は正・負を区分していません(集計上、「+0.0」と「▲0.0」を纏めて「0.0」と表記しています 〈以下の項目も同様〉)。

(2)経常利益

(前年度比•%)

` ' != :	5个小金							
		2017年度	2018年度		2018/上期		2018/下期	
		実績	計画	(修正率)	実績	(修正率)	計画	(修正率)
全産業		+ 3.1	▲ 3.4	(+ 1.2)	▲ 2.8	(A 0.6)	▲ 3.9	(+2.7)
	製造業	+ 11.0	+ 4.2	(+4.3)	+ 13.3	(0.0)	▲ 5.1	(+ 10.2)
	非製造業	▲ 5.8	▲ 13.0	(▲ 3.2)	▲ 30.2	(▲ 2.1)	▲ 2.7	(▲ 3.7)
			2019年度		2019/上期		2019/下期	
					=010/ ==///		/ 1 //4	
			計画	(修正率)	計画	(修正率)	計画	(修正率)
全産業		_	計画 ▲ 2.1	(修正率)			i	(修正率)
全産業	製造業			(修正率)	計画		計画	(修正率)

▽ 売上高経常利益率(全産業)



(3)設備投資額

(前年度比・%)

(-) H2(N)					(17.7	1 /2 41 = 7 - 7
		2017年度	2018年度		2019年度	
		実績	計画	(修正率)	計画	(修正率)
全産業		+ 26.2	+ 0.9	(A 5.9)	▲ 14.9	
	製造業	▲ 2.5	+ 36.6	(A 8.2)	▲ 14.8	_
	非製造業	+ 63.9	▲ 24.8	(▲ 2.7)	▲ 15.0	—

▽ 生産・営業用設備判断 D.I.

(%ポイント)

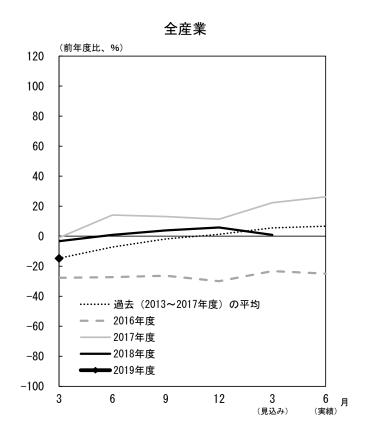
	2018/3月	6月	9月	12月	(前回の 2019/3月	2019/3月		6月	
	2016/3月	07	9月	12月	予測)	最近	変化幅	先行き	変化幅
産・営業用設備判断D.I. 「過剰」−「不足」)	4 5	▲ 6	1	▲ 1	(A 2)	▲ 4	4 3	A 6	4 2
製造業	A 7	A 7	3	3	(3)	4	4 7	A 7	4 3
非製造業	A 3	A 5	A 2	A 2	(A 4)	A 5	▲ 3	A 6	4 1

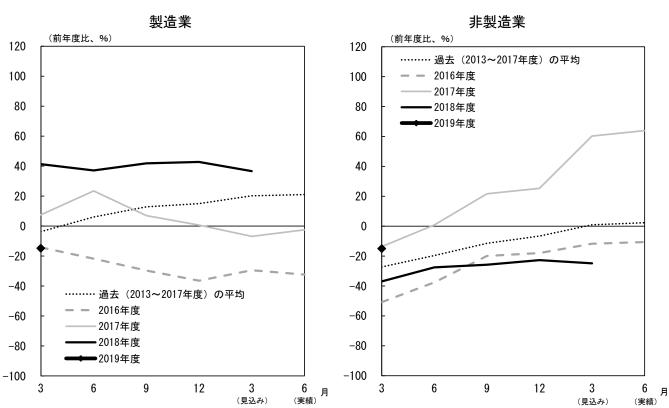
(4)研究開発投資額

(前年度比・%)

	2017年度	2018年度		2019年度	
	実績	計画	(修正率)	計画	(修正率)
全産業	▲ 14.6	+ 10.0	(▲ 7.5)	▲ 4.3	_

▽ 設備投資額の足取り





(注 4) 横軸に初回調査(3 月調査)から実績が確定する翌年6月調査までの6 調査回を取り、毎年度の設備投資計画について、調査回毎の前年比の足取り(修正パターン)をグラフで示したもの。

3. 雇用人員判断 D.I.

(%ポイント)

	2018/3月	6月	9月	12月	(前回の 2019/3月	2019/3月		6月	
	2010/3月	0月	9月	12月	予測)	最近	変化幅	先行き	変化幅
用人員判断D.I. 「過剰」−「不足」)	▲ 30	▲ 27	▲ 28	▲ 35	(A 42)	▲ 33	2	▲ 42	4 9
製造業	▲ 13	▲ 24	▲ 28	▲ 28	(A 28)	▲ 29	4 1	▲ 26	3
非製造業	▲ 37	▲ 29	▲ 29	▲ 38	(A 48)	▲ 35	3	▲ 49	▲ 14

 4. 企業金融
 (%ポイント)

								. , , , ,	
	2018/3月	6月	9月	12月	(前回の 2019/3月	2019/3月		6月	
	2010/0/1	071	071	12/,	予測)	最近	変化幅	先行き	変化幅
金繰り判断D.I. 「楽である」-「苦しい」)	18	14	14	13	_	12	1	_	ı
製造業	13	15	16	13	-	13	0	-	-
非製造業	20	14	12	12	_	11	4 1	_	ı
融機関の貸出態度判断D.I. 「緩い」-「厳しい」)	23	23	19	20	_	20	0	-	ı
製造業	27	29	20	23	_	26	3	_	-
非製造業	23	20	18	19	_	17	▲ 2	_	ı
入金利水準判断D.I. 「上昇」-「低下」)	▲ 10	A 8	▲ 6	▲ 11	(6)	▲ 5	6	1	4
製造業	▲ 3	▲ 3	3	▲ 6	(16)	0	6	10	10
非製造業	▲ 13	▲ 11	A 9	▲ 14	(1)	A 7	7	A 6	1

5. 需給・在庫・価格判断

(1)製商品需給·在庫判断 D.I.

(%ポイント)

	2018/3月	6月	9月	12月	(前回の 2019/3月	2019/3月		6月	
	2010/3月	07	эД	12/7	予測)	最近	変化幅	先行き	変化幅
商品・サービス需給判断D.I. 需要超過」-「供給超過」)	▲ 7	▲ 12	▲ 12	▲ 14	(A 9)	▲ 14	0	▲ 16	4 2
製造業	▲ 9	▲ 9	▲ 10	▲ 9	(A 16)	▲ 23	▲ 14	▲ 26	▲ 3
非製造業	▲ 6	▲ 13	▲ 13	▲ 15	(A 6)	▲ 10	5	▲ 11	4 1
i品在庫水準判断D.I. 「過大」−「不足」)	4	10	4	3	-	3	0		ı
製造業	0	14	3	7	-	11	4	_	-
非製造業	6	8	3	0	-	1	4 1	-	-

(2)価格判断 D.I. (%ポイント)

								_	
	2018/3月	6月	9月	12月	(前回の 2019/3月	2019/3月		6月	
	2010/0/1	0/1	071	12/1	予測)	最近	変化幅	先行き	変化幅
入価格判断D.I. 「上昇」-「下落」)	20	24	21	18	(22)	18	0	31	13
製造業	31	33	25	31	(41)	32	1	48	16
非製造業	17	20	19	12	(15)	13	1	24	11
売価格判断D.I. 「上昇」−「下落」)	0	5	3	4	(3)	▲ 3	4 7	13	16
製造業	▲ 3	3	3	10	(10)	0	1 0	20	20
非製造業	1	5	3	1	(0)	▲ 3	4	10	13

以上